

病院統合再編 移行期の診療体制等について

お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-5704

〔表1〕 移行期の診療科（平成20年度～22年度）

施設整備が完了する平成22年度までは、外来・入院・患者数、手術件数等の均衡を考慮して、診療科の配置をするものです。

	日本海総合病院 (現県立日本海病院)	日本海総合病院酒田医療センター (現市立酒田病院)
診療科数	20科程度	7科程度
診療科	内科、循環器科、神経内科、小児科、外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理科	消化器科（酒田医療センターを中心に診療体制をとる） 整形外科（酒田医療センターを中心に診療体制をとる） 産婦人科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科（これまでと同様の診療体制）
	消化器科、整形外科（酒田医療センターを中心に診療体制をとる）	内科（外来診療）

- ◆移行時期は、平成20年度の早期に移行できるように計画します。ただし、職員の異動状況や外来の診察室の改修等を考慮して計画します。
- ◆両病院間のシャトル車輛を運行します。

〔表2〕 そのほかの診療体制

項目	移行期 (平成20年度～22年度)	施設整備完了後 (23年度～)
人間ドック	酒田医療センターで実施	原則的に日本海総合病院で実施。 人間ドック用の個室10床を日本海総合病院の増築棟に整備予定
緩和ケア	日本海総合病院の一般病床10床程度を活用して、緩和ケアチームが回診する形で行う	同左のとおり
集中治療室等	ICU 8床、HCU16床で運用する	同左のとおり

ICU／集中治療室 HCU／準集中治療室、重症患者病棟

**〔表3〕 主な施設整備の基本設計素案
(平成23年度から供用予定)**

救命救急センター	増築棟1階に整備
一般病床	120床程度増 増築棟に整備（2つの階を使用、各60床）（うち人間ドック10床程度整備） 1階当たり、人間ドックの個室を除く55床のうち、個室9室、特別室2室、4床室11室（個室率20.0%）で検討
手術室	5室程度増設
周産期施設	手術室増築棟と併せて整備
外来診察室	外来棟として1棟を増設、診察室17室程度増設、がん化学療法室を整備
内視鏡検査室	増築棟に内視鏡検査部門 全体として8台程度整備
放射線室	MRI 1台増設。マンモグラフィー1台を酒田医療センターから移設等
駐車場	600台分程度。職員宿舍側用地に整備
ヘリポート	設置場所、設置方法を検討

市立酒田病院と県立日本海病院との統合再編まで3か月となりました。これまで統合再編協議会でさまざまな検討を行い、統合病院に円滑な移行が出来るように、協議を続けてきました。

今後「安心・信頼・高度」の医療提供と「保健・医療・福祉」の医療連携という統合再編の基本理念を実現するため検討を続けていきます。

昨年12月4日に開催された第2回法人設立準備会では、①平成20年度～22年度までの移行期と施設整備が完成する平成23年度以降の両病院の医療機能について②移行プロジェクト会議の取り組み状況について③施設整備の基本設計についての協議が行われ、左記表1・表2のとおり計画・実施す

第2回法人設立準備会での確認事項

ることになりました。また、職員の勤務条件についての基本方針が報告されました。

施設整備の基本設計方針について

〔表3〕

①庄内地域および最上地域の一部を網羅する三次救急医療として救命救急センター（新型）の整備を設計する ②統合再編に伴い、庄内地域の急性期医療、高度医療の

中核病院として日本海病院に病棟・手術室等の増築・改修を設計する ③整備に当たっては、現病院棟の機能を基準とし、患者動線、診療・業務の効率化、低コスト化、また、診療機能の継続および移行を考慮して計画・設計する

◆配置については、基本的に増築施設等は現病院棟の西側に整備し、現病院棟と一体的に利用できるように接続し動線を確保します。